

新潟市の下水道整備

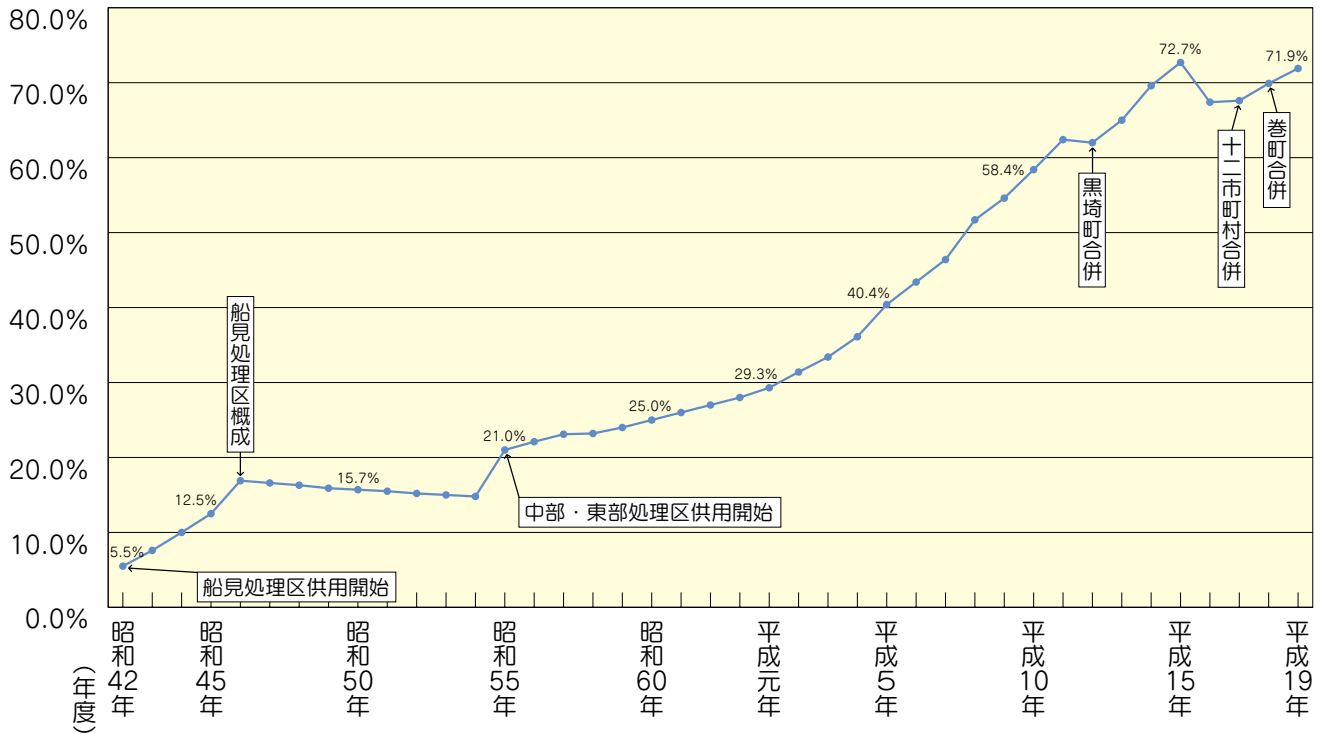
- 昭和27年より下水道事業に着手し、昭和42年に船見処理区で供用開始しています。
- 快適な環境づくりと安心・安全な暮らしを守るために、下水道処理区域の拡大、浸水対策、下水道資源の有効利用などに努めています。

下水道の全体計画

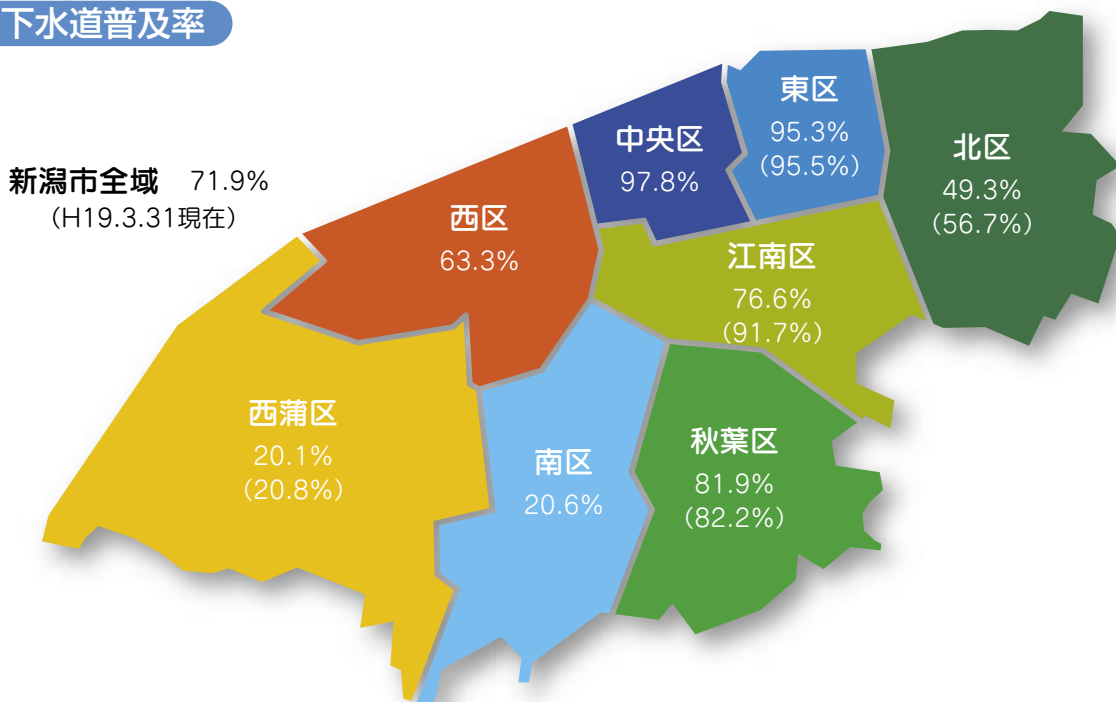


	処理区	計画面積(ha)	計画人口(千人)	備 考
単 独 流 域 間 連 帯 の 他	船 見	466	36.9	合流 (中央区の一部)
	中 部	4,591	266.4	合流、一部分流 (中央区の一部、江南区の一部、西区の一部)
	白 根	1,235	49.7	分流 (南区の一部)
	新 潟	5,230	208.1	分流、山の排水区は合流 (東区、江南区の一部、中央区の一部)
	新 津	2,516	82.1	分流 (秋葉区)
	新井郷川	2,931	85.4	分流 (北区)
	西 川	4,662	135.0	分流 (西蒲区、南区の一部、西区の一部)
計	金 池	7	0.2	分流 (西蒲区【金池地区】) 弥彦村特定環境保全公共下水道へ流入
	計	21,638	863.8	
単 独 結 核	島 見	(56)	(2.3)	分流 (北区【島見地区】)

下水道普及率の推移



区別下水道普及率



() 内は農業集落排水施設・地域下水道を含んだ普及率

浸水対策事業

H10.8.4 (97mm/h) の豪雨を踏まえて、床上などの浸水被害軽減のため雨水浸水対策を推進しています。

下山ポンプ場



- 下山ポンプ場は、新潟市東区の物見山排水区の浸水対策として整備を進めています。
- 排水量 $Q=36.5\text{ m}^3/\text{秒}$ と本市の雨水ポンプ場としては最大級となります。
- 総事業費約160億円、平成13年度に着手し事業を進めています。

木戸貯留施設

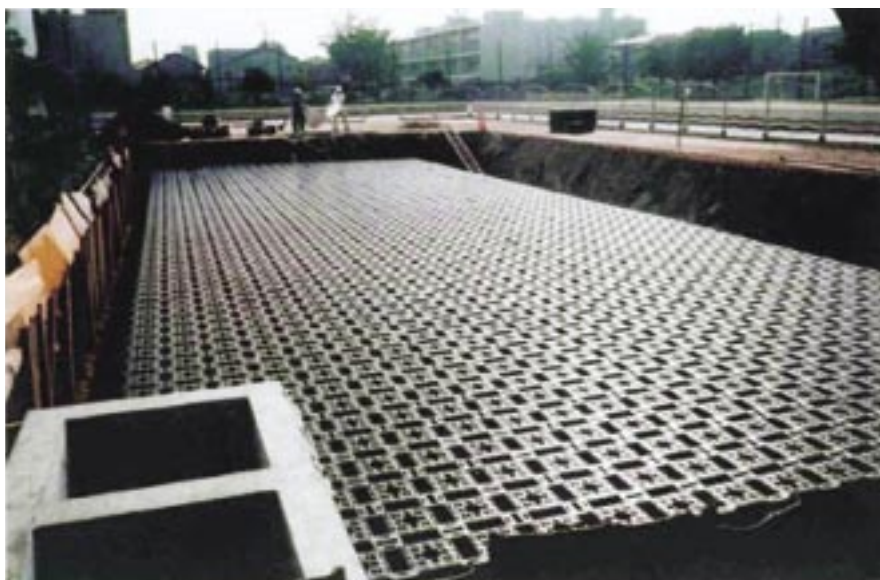


- 木戸貯留施設は、新潟市東区の木戸排水区の浸水対策として整備を進めています
- 貯留量約58,000 m^3 と本市の雨水貯留施設としては一番大きな施設となります。
- 総事業費約100億円、平成19年度に着手し事業を進めています。

雨水流出抑制事業

雨水幹線などのハード整備とあわせ、雨水貯留浸透施設設置などの雨水流出抑制を推進しています。

公共施設・学校グラウンドの雨水貯留



- 平成12年度より学校のグラウンドや公共施設などに雨水貯留浸透施設の設置を進めています。
- 平成19年度までに、学校のグラウンドで51箇所に設置しています。

宅地内の雨水貯留浸透施設（設置助成）



浸透ます

貯留タンク

- 平成12年度より市民へ雨水貯留浸透施設の設置助成制度を進めています。
- 平成19年度までに、約5万基の雨水浸透樹と約2千基の雨水貯留タンクの設置をしていただいています。